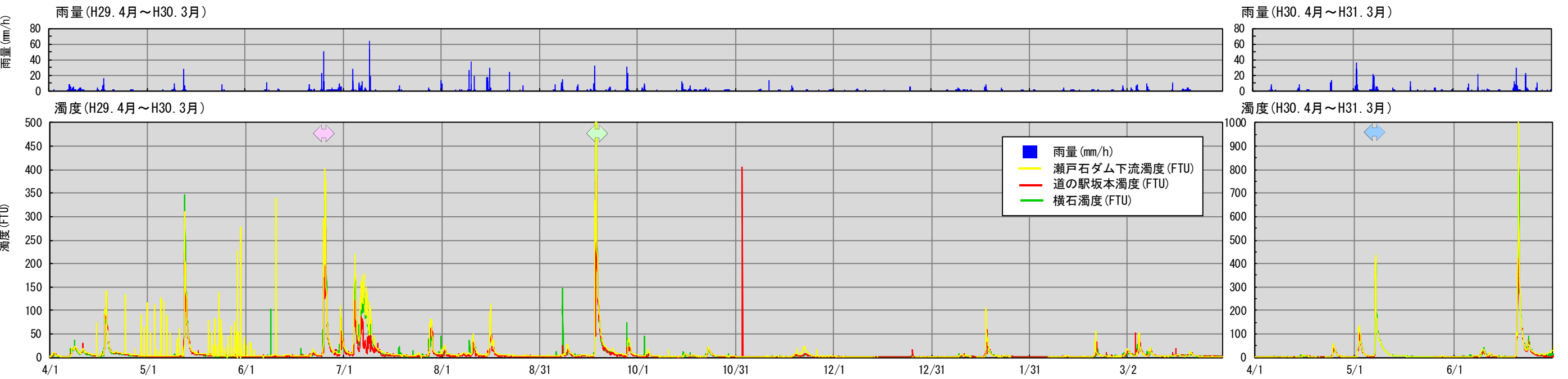
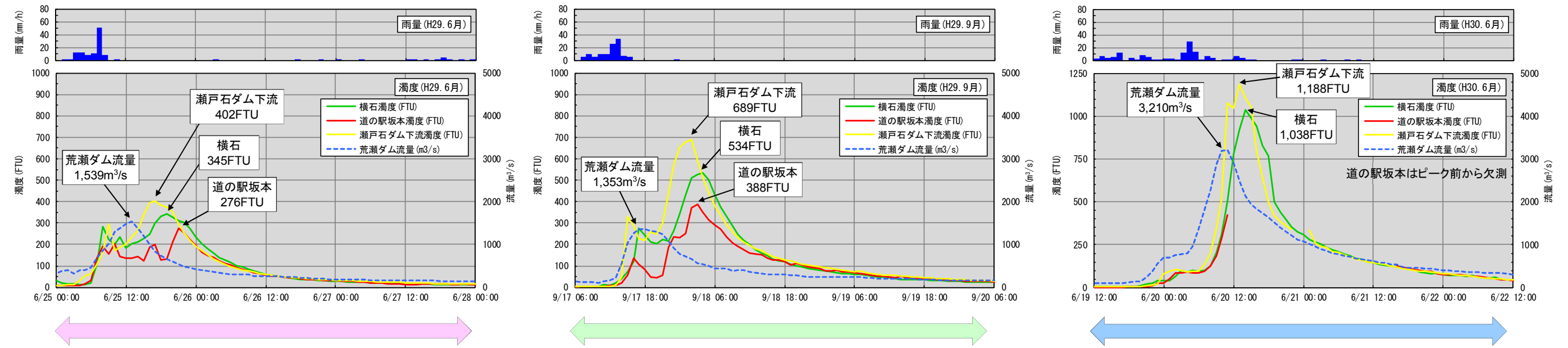


5) 水質（常時観測：出水時）

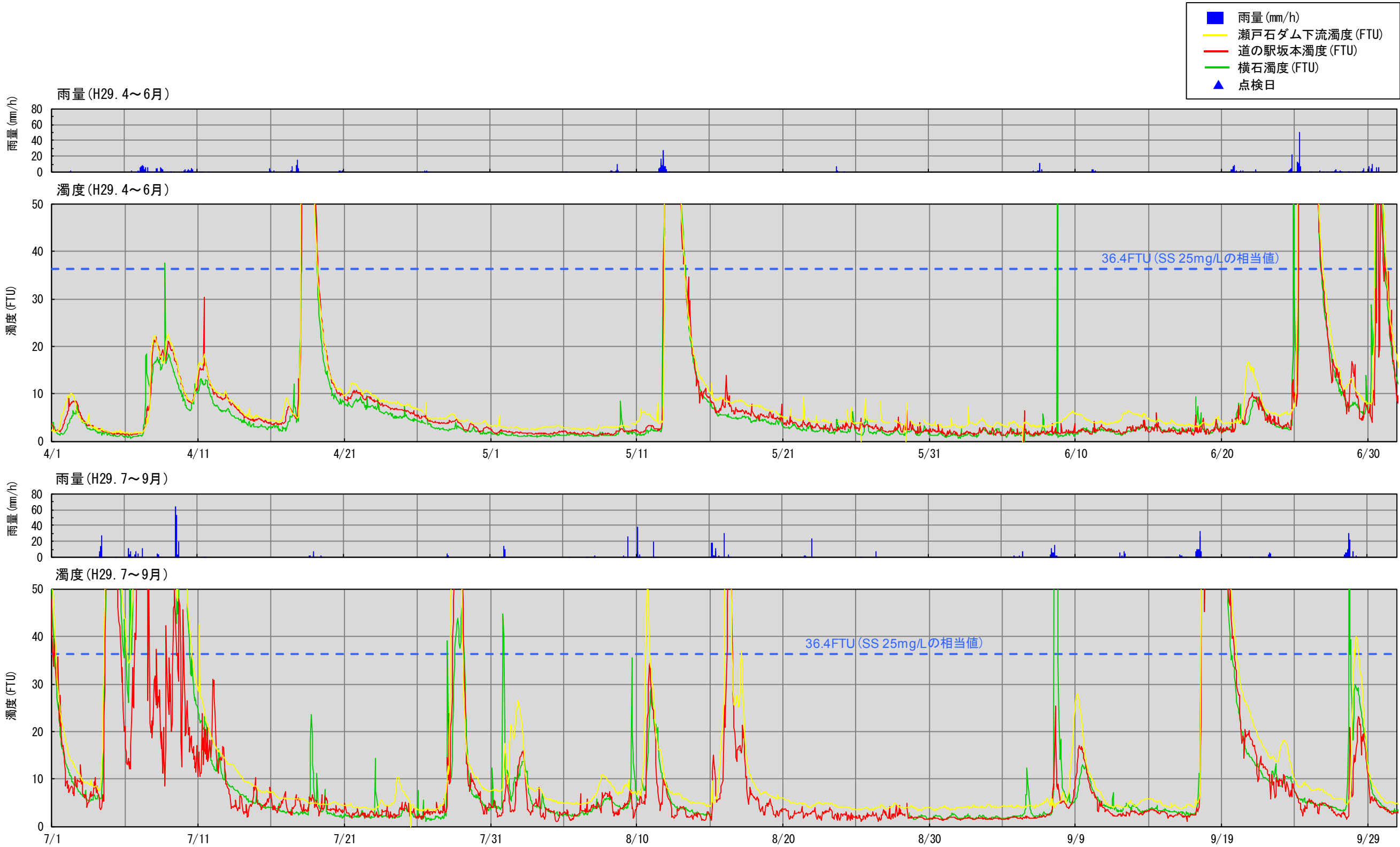
【参考資料 I -101 参照】

評価項目	視点	平成 29 年度の調査結果概要	評価概要
出水時濁度の状況	出水時の濁度の時間変化（自動観測）	道の駅坂本や横石の濁度は、主要な出水時において、瀬戸石ダム下流の濁度を概ね下回っている。	ダム上流からの堆積土砂（泥土：シルト）の流出の影響は小さいと考えられる。



6) 水質（常時観測：平水時）

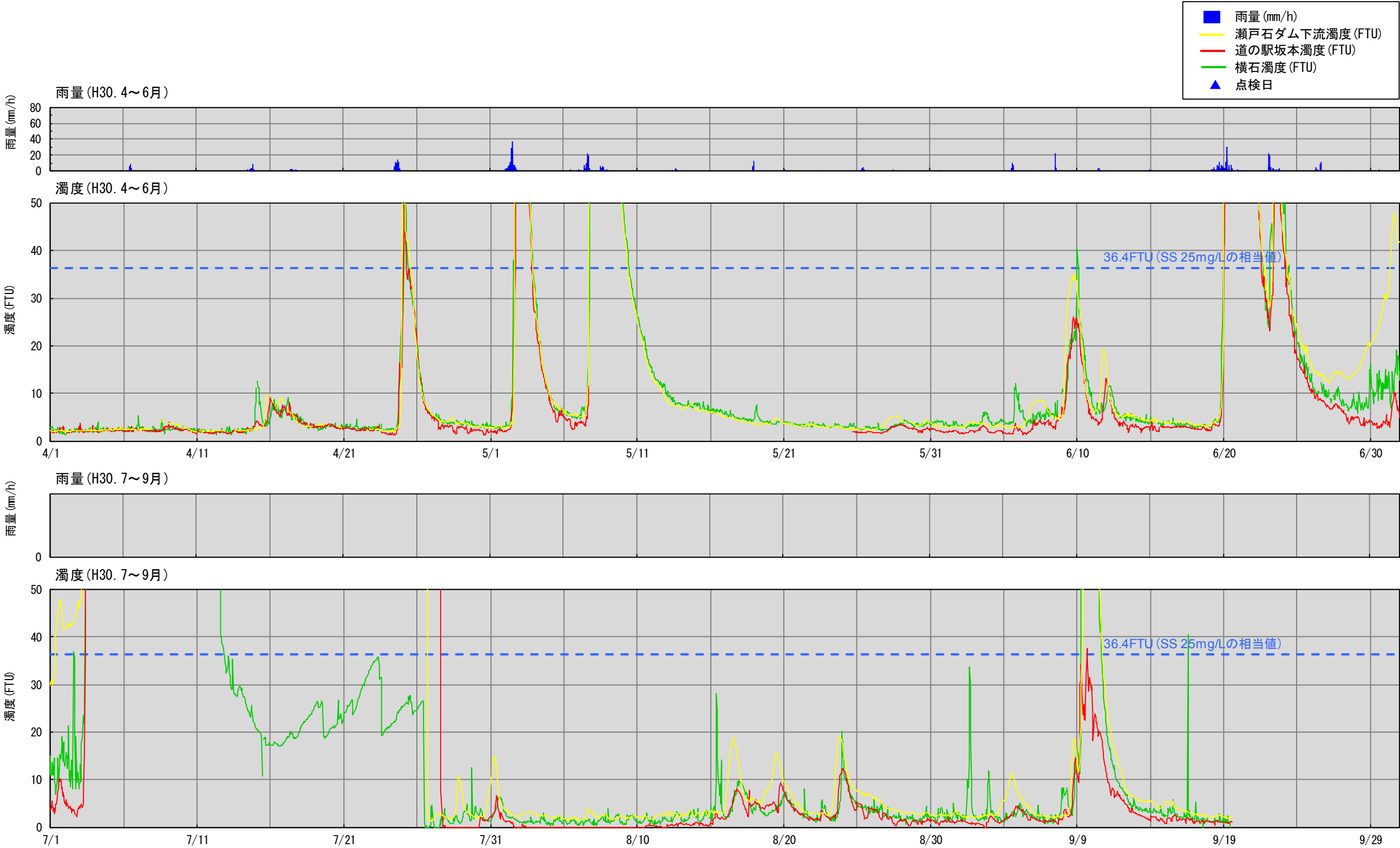
評価項目	視点	平成 29 年度(4～9 月)の調査結果概要	評価概要
平水時濁度の状況	平水時の濁度の時間変化（自動観測）	道の駅坂本（荒瀬ダム直下流）の濁度は、瀬戸石ダム下流（荒瀬ダム上流）の濁度と同等、もしくは下回るレベルで推移しており、ダム下流で著しく濁度が上昇する傾向は確認されなかった。	道の駅坂本の濁度は、出水時などに一時的に高くなることはあるが、平常時は環境基準レベル（36.4FTU）を概ね下回っており、ダム下流の環境に対して大きな影響はなかったと考えられる。



評価項目	視点	平成 29 年度(10 月～3 月)の調査結果概要	評価概要
出水時濁度の状況	出水時の濁度の時間変化 (自動観測)	道の駅坂本（荒瀬ダム直下流）の濁度は、瀬戸石ダム下流（荒瀬ダム上流）の濁度と同等、もしくは下回るレベルで推移しており、ダム下流で著しく濁度が上昇する傾向は確認されなかった。	道の駅坂本の濁度は、出水時などに一時的に高くなることはあるが、平常時は環境基準レベル（36.4FTU）を概ね下回っており、ダム下流の環境に対して大きな影響はなかったと考えられる。



評価項目	視点	平成 30 年度(4～9 月)の調査結果概要	評価概要
平水時濁度の状況	平水時の濁度の時間変化 (自動観測)	道の駅坂本（荒瀬ダム直下流）及び横石の濁度は、瀬戸石ダム下流（荒瀬ダム上流）の濁度と同定、もしくは下回るレベルで推移しており、ダム下流で著しく濁度が上昇する傾向は確認されなかった。	道の駅坂本及び横石の濁度は、出水時などに一時的に高くなることはあるが、平常時は環境基準レベル（36.4FTU）を概ね下回っており、ダム下流の環境に対して大きな影響はなかったと考えられる。



評価項目	視点	平成 29 年度の調査結果概要
平成 29 年度の出水時の 負荷量等の状況	流量と濁り(濁度、SS) の相関性	流量と SS 負荷量関係は、概ねこれまでの変動範囲におさまり、これまでと比較して SS 負荷量が低くなる傾向にある。

